

長野県のツキノワグマ目撃及び人身被害の状況

長野県林務部森林づくり推進課

ツキノワグマの里地での目撃件数の推移

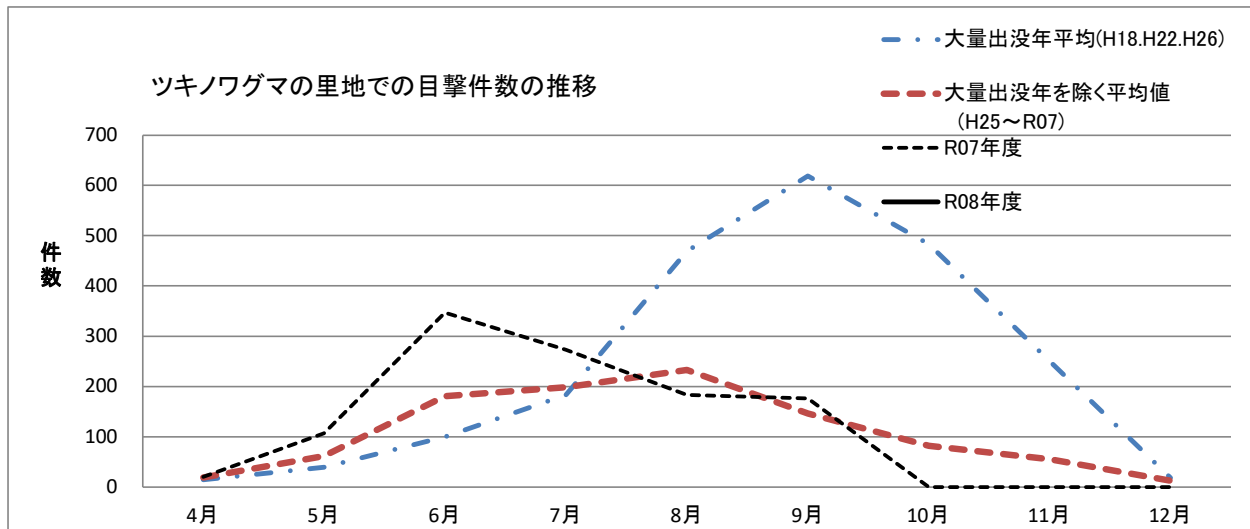
年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4-3月計	人身被害件(人)
H18	22	27	108	252	817	909	751	434	42	-	-	-	3,362	16(18)
H22	8	38	112	159	327	535	269	139	4	-	-	-	1,591	14(14)
H26	14	52	79	138	263	413	430	177	9	-	-	-	1,575	31(32)
R02	16	50	151	264	411	309	126	86	14	3	2	5	1,437	12(12)
R03	16	78	210	266	205	116	83	62	20	1	0	2	1,059	16(16)
R04	20	56	124	147	211	113	50	26	9	3	3	8	770	8(8)
R05	25	68	288	235	275	209	156	117	23	5	3	2	1,406	11(12)
R06	20	107	347	273	348	203	67	49	8	4	2	2	1,430	12(13)
R07	25	59	226	200	183	176	219	174	42	9	4	7	1,324	11(16)
R08	2												2	-

※人身被害は林内での発生も含む。

(4月3日現在の速報値)

網掛けのセルは大量出没年。

凡例	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	4-12月累計	人身被害件(人)
大量出没年平均(H18. H22. H26)	15	39	100	183	469	619	483	250	18	2,176	20.3(21.3)
大量出没年を除く平均値(H25~R07)	19	62	181	198	233	146	82	55	13	989	8.7(9.6)
R07年度	20	107	347	273	183	176	0	0	0	1,106	12(13)
R08年度	2									2	-



・平常年は、山のエサが少なくなり農作物が収穫を迎える8月が目撃件数のピークとなっている。令和7年は6月に226件と急増し、その後も夏から秋にかけて高い水準で推移した。10月には再び増加が見られ、年間を通じて人の日常生活圏での目撃が多い状況が続いた。

・大量出没年では、8月から11月にかけて目撃件数が増加し、特に9月、10月が顕著に増加している。堅果類の豊凶の影響

地域別の里地での目撃件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4-3月 計	人身被害 件(人)
佐久地域													0	-
上田地域													0	-
諏訪地域													0	-
上伊那地域													0	-
南信州地域													0	-
木曾地域	1												1	-
松本地域													0	-
北アルプス地域	1												1	-
長野地域													0	-
北信地域													0	-
計	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	-

(4月3日現在の速報値)